

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月4日
 討議日:令和5年11月 10日

事業所名 松ぼっくり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	・1つの部屋に集中しなよう、時間を分けている ・パーテーションを使用するが、狭いこともある	
	2	職員の配置数は適切である	5	0	・事務の仕事があるときはグループ中、順番に作業することがある	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	・パーテーションを使用している ・踏み台を使用	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・パーテーションを使用している ・グループ後に玩具の消毒をしている ・冬場は寒い	・今年、対応サイズを大きくしたエアコンに取り替えました。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	・勤務日がバラバラなので難しいことがある	・連絡ノートを確認し、共有する
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・内部研修実施 ・月1回のケース検討会	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・半期に1回アセスメント実施 ・保護者アンケートでニーズの確認をしている	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	・発達検査の結果を参考にすることがある ・1対1学習や自立課題実施	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	・お子さんの特性に合わせ、繰り返し同じプログラムをすることもある	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	・個別課題の中で、課題や目標をおいている	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	5	0	・記録を元に振り返りをしている	
	19	5	0		
	20	5	0	・半期に1回会議をしている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	5	0		
	22	5	0		
	23	0	3	・対象児無し	
	24	0	3	・対象児無し	
	25	4	1	・対象児無し	
	26	4	1		
	27	5	0	・PTや心理士と連携、情報交換することがある ・連絡会にて情報交換をしている	
	28		5	・保育園や、幼稚園に在籍があるため ・職員同士の交流はあると思う	
	29	1	3		
	30	5	0		
	31	4	1	・個別での質問を受けている ・教材作りや懇談会を実施	
保護者への説明責任等	32	5	0	・契約時に説明	
	33	5	0		
	34	5	0		
	35	3	1	・懇談会を実施	
	36	5	0		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・HP、月案、会報で発信	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	・コロナのため、祭りの実施が難しい	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	・グループ内で避難訓練実施 ・感染症マニュアル掲示	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・紙芝居を使用して子どもに説明している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・事前アンケートに記入してもらっている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	4	・食事の機会無し ・対象児無し	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2	・事例集は無いが、日誌に記録して共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月4日

アンケート期間: 令和5年7月17日～8月18日

事業所名 松ぼっくり

配布数: 25枚 回収数: 15 割合60 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	13	1	0	1	・問題ありません ・人数によっては狭く感じることがある ・6人いるとたいようが狭く感じることもあるが、許容範囲	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	15	0	0	0	・十分である	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15	0	0	0	・写真の提示がしてあって良いと思う	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13	2	0	0	・一軒家なので、ある程度の空間は出来てしまうが、パーティションの使用やスタッフの誘導でスムーズに過ごせている	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	15	0	0	0	・十分である	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	1	0	0	・十分である	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	1	0	0	・アセスメントを良く出来ていると思う	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	12	3	0	0	・難易度も工夫されている ・視覚支援が良く出来ている ・家でも出来る物を工夫して使っている	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	3	3	5	・全通園児が交流出来る機会があっても良いと思う ・(交流は)無し	・現状では、曜日を超えての交流は考えておりません
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	14	1	0	0	・責任者より実施 ・行われている	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	14	0	0	0	・責任者より実施	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	13	0	0	2	その日のうちに責任者(不在の時はスタッフから話を聞ける	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	0	0	0	・細かな様子も覚えてしてくれる ・経過をよく把握してくれている ・いつも情報の共有が出来ている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	15	0	0	0	・十分である	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	5	1	1	8	・下の子を預かってくれる場所があるといい、有料でもいいので。 ・父母会については聞いたことがあります。	・こちらでの預かりは現状実施しておりません。預かり先の情報の提供をしております。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	15	0	0	0		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	15	0	0	0	・十分である ・(配慮が)されている	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	10	1	0	4	・松風園のHPに時々っているようだが、定期的なアナウンスは無い。しかしそこまで不要だと思うので困っていない ・会報はあるが、自己評価の発信は不明	・HPでの発信を行っております
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	14	0	0	0	・されている	
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	12	3	0	0	・防災訓練を実施した ・避難訓練があつて良かった	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	10	2	1	2	・避難訓練があつて良かった	
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	14	1	0	0	・下の子を預かる場所があると良い ・母子ともに満足しています ・その日によって(お子さんの)気分がコロコロ変わる	・15番参照
	23	事業所の支援に満足している	15	0	0	0	・おかげ様で子育てが少し楽しくなりました。本当に感謝しています。 ・母子ともに満足しています	

事業者向け

放課後等デイサービス自己評

公開日:令和6年3月4日 討議日:令和5年11月10日

		チェック項目	はい	<small>どちらとも いえない</small>	いいえ	改善目標、工夫している点など	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・一部屋に集中しないよう、時間をずらすなどの工夫をしている	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・事務作業があるときは、グループ時間中に順番で抜けることあり	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・段差(玄関)有り ・洗面所に踏み台実施 ・玄関のあがりが高い	・土間が狭く、踏み台が置けないので、職員が側で見守り安全を把握している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・業務時間が違うので、振り返りは難しい。業務全般のことは、連絡ノートにて共有している	・活動の後、17時～(10分程度)反省会を行っていく。また、質問箱と回答箱を設定していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・年度が変わるときにアンケートを行っている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・内部研修(すぐ実施出来る内容を共有出来た) ・月1回、ケース検討実施	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・半年に1回のアセスメントと、面談実施	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・発達検査の結果を参考にすることがある	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・年度末の会議で年間予定を決めている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・プチチャレンジDAYや、夏のイベントなどを行っている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・夏イベント、プチチャレンジを実施(フクレレ、調理などを通して経験の拡大を図る) ・平日のみの開所 ・夏のイベント、保護者のアンケートをもとに決定している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				

15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・記録を記入。片付け時に振り返ることはあるが、全員での打ち合わせは難しい ・振り返りの時間は設けていないが、気になったことなどは、その場で共有するようにしている ・業務時間の違いがあるので、常勤職員同士で行っている 	4番参照
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年に1回モニタリングを実施している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・保護者送迎のため(送迎は対応していない)	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	○	・受け入れ無し(対象児無し)	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・4年生になるときに、次の放デイ(ぴこっと)への引継ぎ有り	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・必要に応じてPTや心理士と連携をしている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○		・送迎時などに様子を聞きアドバイスするなどの支援有り ・ペアトレは行っていないが個々の相談には対応している	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・電話、面談などで対応している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・懇談会実施(保護者が繋がるきっかけ作り) ・父母会は無いが、参観日を設け話す機会は提供している	

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・予定表、ホームページ掲載	
	35	個人情報に十分注意しているか	○				
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○		・松風園祭り実施予定だが、コロナ対策のため、外部の受け入れは限定している	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・避難訓練を実施(グループによって分かりやすいよう、紙芝居などの視覚支援を使用)	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束はしていない	・今後、必要な方は個別支援計画に記載をし、対応していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・基本的に食事提供無し。プチチャレンジの調理時は個人ファイルを確認 ・アレルギーの確認はしているが、医師の診断書などは無し	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事例集は無いが日誌に記録して、職員間で共有はしている	

公表日: 令和6年3月4日 アンケート配布期間: 令和5年7月17日～8月30日 配布数: 60回 収数: 42

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見についての対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	35	4		・お勉強する場所と自由に好きなことを出来る部屋に1人1つ机があって確保されている ・子どもも大きくなり、狭いのは？と思っていたが見学のときに上手くスペースを使って活動していると思った	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	38	1		・すぐに子どものところに行けるように近くに居てくれる ・スタッフの連携が凄く良くて安心している	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	15	4		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	39			・一人一人にあった課題になっていてありがたい	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	36	3		・毎回お勉強でも新しいことをやったりと固定化はされていない ・年間予定が決まってい”て見通し”が子どもにとっても良いと思います	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	14	17	・今はまだありません ・特に気にしたことが無かった ・買い物予定があり、外出時に触れあうこともあるかと考えます	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38	1		・最初に説明されている	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	35	4		・子どもの状況を色々とお話ししており、その子に合う課題で取り組んでいるので共通理解出来ていると思う ・月1回なので伝えきれないこともある	・電話や、面談での対応と、必要に応じて、個別の連絡ノートでの情報共有をしていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	37	2		・6月に懇談会があり、色々とお話しする機会があった ・具体的なアドバイスをいただけるのでとてもありがたいです	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23	15	1		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	11		・分からない ・今のところ苦情とかに関しては全くないので大丈夫 ・苦情入れる機会も無い	・苦情の受付については、掲示をしています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34	5		・子どもにも親にも分かりやすく情報伝達されています	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	34	5		・LINEで定期的に情報を頂いている ・LINEの連絡が来るようになり、分かりやすくなった	

	14	個人情報に十分注意しているか	37	2	・特に気になることは無い	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	9	・最初の契約のときに資料でお話しはきちんと頂いている	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	17	3	・今のところはありません
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	34	5	・行く日数が減ってしまったため、あまり行きたがらなくなりました ・毎回とても楽しみにしている ・子どもも活動内容を意識するようになってきました ・予定内容によって変わりますが、先生方に会える安心材料になっていると思います ・行くときは嫌がっていても終わった頃には楽しかったと言っています	
	18	事業所の支援に満足しているか	37	2	・親子で満足しています ・プチチャレンジ有難いです ・先生方のご配慮と、支援に感謝している	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。